千葉市上空の航空機騒音の改善に係る申入書

千 葉 市

平成23年11月7日

千葉県上空の航空機騒音の改善に係る申入書

昨年10月21日からのD滑走路の供用開始後において、着陸機の飛行ルートが一部地域に偏るなど、供用開始前の説明と異なる運用が行われている現状に鑑み、「羽田再拡張事業に関する県・市町村連絡協議会」（以下「協議会」という。）から、本年2月及び6月に飛行ルートのゾーン内分散化も含めた運用改善と更なる騒音影響の軽減対策の検討・早期実施等を求めたところです。

特に、福島原発の事故により節電が求められたこの夏には、飛行ルート下の住民から就寝時等の航空機騒音に悩む苦情や事態の早期改善の要望が多く寄せられたところであります。

羽田再拡張から1年が経過しており、未だ有効な改善策が示されていないことから、市民生活への影響は相当大きなものとなっております。

貴職におかれては、今後、羽田空港の飛行便数の増加が計画されている中で、騒音影響の軽減を求める千葉市民の声を真摯に受け止め、可能な限り速やかに改善策を講じることを強く要望します。

本市としては、飛行の安全性の確保は勿論のこと、これまでの協議会における要望項目も含め、騒音影響の軽減・改善を最優先事項として飛行ルートの変更、管制技術の検討を進め高度を引き上げるとともに、併せて各航空会社での騒音軽減策の実施など、早期に実施されることを重ねて要望いたします。

平成23年11月7日

国土交通大臣 前田 武志 様

千葉市長 熊谷 俊人